第１章　高岡市の概要

第１節　市域の位置

本市は、富山県の北西部に位置し、面積は、209.58㎢である。

北は、氷見市に接し、東は射水市、北西は石川県宝達志水町・津幡町、南西は小矢部市、南は砺波市に接している。市内の西側は山間地域で二上山とこれに連なる西山丘陵があり、東側は庄川・小矢部川によって形成された平坦な平野部からなっている。小矢部川右岸は、庄川の扇状地の末部にあたり、良質の地下水が自噴している。また、市域の北東側は富山湾に面している。

気候は、いわゆる日本海型に属しており、比較的温暖で、年間を通じて降水量も多く多湿であるが、四季の変化に富む豊かな自然に恵まれている。

第２節　沿革

本市の歴史は極めて古く、有史以前から先人が生活を営んでいたことは、石器時代の遺物、縄文・弥生時代の遺跡から伺うことができ、二上山山麓を取り巻く古墳群の存在から、越中文化の発祥の地であると考えられる。

また、奈良時代の天平 18 年（西暦 746 年）、大伴家持が国守として越中国府（現在の伏木）に着任し、数多くの秀歌を万葉集に残している。

さらに、江戸時代の慶長 14 年（西暦 1609 年）、加賀藩２代藩主前田利長公が現在の高岡古城公園に城を築き、地名を詩経の「 鳳凰鳴けり彼の高き岡に 」から高岡と名付け、市形態の礎を築いた。

高岡には、利長公による開町以来の高岡銅器、高岡漆器、全国シェアの約９割を占める越中福岡の菅笠などの「ものづくりの技」が脈々と息づいている。

明治 22 年（西暦 1889 年）わが国に初の市政が施行され、全国 31 市の一つとして高岡市が誕生し、その後、周辺町村との合併を行い、平成 17 年 11 月１市１町が合併し新高岡市が誕生した。

市域の変遷

	年　月　日	合併市町村等	増加面積（㎢）	総面積（㎢）	人口（人）
旧高岡市	明治 22 年 4 月 1 日	市制施行	－	2.04	29,202
	大正６年５月 15 日	掛開発村、佐野村の一部	2.20	4.24	36,648
	大正 14 年 8 月 1 日	下関村	4.02	8.26	39,932

	年　月　日	合併市町村等	増加面積 (km²)	総面積 (km²)	人口 (人)
旧高岡市	昭和３年６月１日	横田村、西条村	8.04	16.30	48,894
	昭和７年10月１日	佐野村の一部（清水地区）	0.40	16.70	52,243
	昭和８年８月１日	二上村	6.37	23.07	54,672
	昭和17年４月１日	伏木町、能町村、守山村、野村、佐野村、二塚村	41.55	64.62	87,908
	昭和17年10月１日	新湊町	9.38	74.00	113,937
	昭和24年１月１日	福田村	3.36	77.36	138,988
	昭和26年１月１日	新湊町、牧野村分離	△9.32	68.04	109,759
	昭和26年３月17日	国吉村	14.51	82.55	113,555
	昭和26年４月４日	牧野村	4.80	87.35	115,770
	昭和26年10月５日	太田村、石堤村、東五位村	25.89	113.24	122,773
	昭和29年４月１日	小勢村	3.19	116.43	124,165
	昭和30年４月１日	立野村	3.72	120.15	126,549
	昭和35年10月１日	国勢調査時、国土地理院の修正により減少	△0.47	119,68	135,190
	昭和34年11月２日	伏木玉川および伏木伏浦地先公有水面埋立地	0.12	119.80	139,988
	昭和40年10月１日	国勢調査時、国土地理院の修正により減少	0.01	119.81	140,581
	昭和41年２月10日	戸出町、中田町	31.24	151.05	155,108
	昭和63年10月１日	国土地理院の修正により減少	△0.67	150.38	177,588
	平成９年５月７日	公有水面埋立地（伏木磯町及び伏木湊町）	0.17	150.55	175,364
	平成９年７月14日	公有水面埋立地（伏木万葉ふ頭）	－	150.55	175,428
	平成15年８月20日	公有水面埋立地（太田辰ノ口）	0.01	150.56	171,261
	平成17年７月８日	公有水面埋立地（伏木万葉ふ頭）	0.05	150.61	169,514

	年　月　日	合併市町村等		総面積（km²）	人口（人）
旧福岡町	昭和15年2月11日	新設合併	福岡町、大滝村、山王村	11.52	4,874
	昭和29年8月1日	新設合併	福岡町、西五位村、五位山村	49.65	10,379
	昭和29年9月15日	編　入	赤丸村	58.23	11,896
高岡市	平成17年11月1日	新設合併	高岡市、福岡町	209.37	183,077
	平成18年4月7日		公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)	209.38	182,214
	平成21年6月18日		公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)	209.42	178,704
	平成26年6月27日		公有水面埋立地(伏木万葉ふ頭)	209.47	176,127
	平成26年10月1日		国土地理院による面積の計測手法の変更による	209.57	175,957
	令和4年7月1日		国土地理院の修正により増加	209.58	165,714

第３節　市勢

本市の人口は、約16万１千人で、富山県（人口約97万人）内で富山市に次ぐ第２の都市である。

産業では、江戸時代から培われた優れた技術は、銅器、漆器、仏壇、薬業などの伝統産業として今日も連綿と続き、昭和50年には高岡銅器と高岡漆器が、平成29年には「越中福岡の菅笠」が、伝統的工芸品として国の指定を受けた。

さらに、大正年代（ 1910年代 ）から豊富な電力、工業用水、良好な港湾などの立地条件を生かし、繊維、紙、パルプ、化学、金属製品などの近代産業が発展し、戦後は、アルミ製品、プラスチック製品、医薬品製造業などが急伸し、日本海沿岸有数の工業集積を有する商業都市として発展している。

また、平成27年３月14日には北陸新幹線が開業し、高岡市は未来に向けた新たなステージを迎えた。

１　人口（住民基本台帳ベース）

(1)　人口、世帯数の推移

（各年12月31日現在）

区分／年次	世帯数	人口			一世帯あたり人口
		総 数	男	女	
平成30年	68,611	171,958	83,298	88,660	2.51
令和元年	68,933	170,470	82,641	87,829	2.47
令和２年	69,322	168,915	81,901	870,14	2.44
令和３年	69,478	167,216	81,031	86,185	2.41
令和４年	69,778	165,714	80,343	85,371	2.37

区分 / 年次	世帯数	人口			一世帯あたり人口
		総 数	男	女	
令和５年	70,285	164,053	79,660	84,393	2.33
令和６年	70,909	162,672	79,097	83,575	2.29
令和７年	71,202	161,098	78,407	82,691	2.26

（資料：市民課）

(2) 人口動態　　（各年 12 月 31 日現在）

区分 / 年次	自然動態			社会動態			増 減 合 計
	出 生	死 亡	増 減	転 入	転 出	増 減	
平成 30 年	1,123	2,157	△1,034	4,523	4,705	△182	△1,216
令和元年	1,031	2,190	△1,159	4,684	5,013	△329	△1,488
令和２年	1,012	2,153	△1,141	4,394	4,808	△414	△1,555
令和３年	1,020	2,304	△1,284	4,294	4,709	△415	△1,699
令和４年	1,024	2,533	△1,509	4,772	4,765	7	△1,502
令和５年	874	2,601	△1,727	4,894	4,828	66	△1,661
令和６年	843	2,552	△1,709	5,010	4,682	328	△1,381
令和７年	845	2,422	△1,577	4,756	4,753	3	△1,574

（資料：市民課）

２　土地利用

地目別面積　　（各年１月１日現在、単位：㎢）

区分 / 年次	総面積	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	鉱泉地 池沼 牧場	公有地等
平成 30 年	209.57	51.61	2.49	37.81	22.52	2.17	6.45	0.04	86.48
令和元年	209.57	51.22	2.49	37.98	22.54	2.17	6.46	0.04	86.67
令和２年	209.57	51.04	2.48	38.26	22.45	2.17	6.59	0.04	86.54
令和３年	209.57	50.88	2.49	38.35	22.41	2.17	6.04	0.04	87.19
令和４年	209.57	50.88	2.49	38.35	22.41	2.17	6.04	0.04	87.17
令和５年	209.58	50.62	2.48	38.58	22.44	2.17	6.11	0.04	87.14
令和６年	209.58	50.51	2.46	38.67	22.44	2.17	6.14	0.04	87.15
令和７年	209.58	50.36	2.45	38.80	22.42	2.17	6.17	0.04	87.16
令和８年	209.59	50.23	2.45	38.91	22.43	2.17	6.19	0.04	87.17

（資料：資産税課）